

環境教育の推進及びカーボンニュートラル達成に向けた  
学校施設のZEB化のさらなる推進を求める意見書

地球温暖化及び激甚化・頻発化するSDGsや2050年等に対応するため、地球規模の一トクこれが一活用ル)事業)が行われ、この事業は、現在「エコスクール・プラス」として、文部科学省、農林水産省、国土交通省、環境省が連携協力し、認定を受け、学校施設など支援を受ける。また、文部科学省(国・地方)のZEB Readyを増築や改築のほかに、例えば教室の窓を二重サッシに削減するのと、太陽光発電環境問題と関連している。多くの事業が全国で進められてきたが、さらに加速して事業を重要で、技術面(学校施設のZEB化)及び財面(学校施設整備)に対する国庫補助)に留意して、さらなる推進を行うよう強く求める。

記

- 1 技術面に関して、学校施設に関するZEB化の新たな技術の開発や周知を行うこと。特に、新築や増築の取組は、LEEDや二重サッシ、断熱材など、省エネ取組の推進を図る。また、既存の学校施設についても、断熱材の取組を進め、省エネ取組の推進を図る。また、断熱材の取組を進め、省エネ取組の推進を図る。
- 2 財面に関して、多くの学校が取組むことが必要である。特に、多くの学校施設整備に、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和4年6月23日

岐阜市議会

国会及び関係行政庁宛